

令和6年度在宅避難支援事業（せたがや防災ギフト）における 商品申込及びアンケート回答結果まとめ 【概要版】

1. 概要

(1) 事業目的

区は、在宅避難の推進に向け、各家庭の災害時の備えを支援するとともに、区民の防災意識のさらなる向上を図るため、令和6年度に在宅避難支援事業（せたがや防災ギフト）として、防災カタログギフトを配付し、商品を発送するとともに、事業の効果検証や区の災害対策にかかる施策の検討に活かすことを目的として、アンケートを実施した。

この概要版では、本事業における商品の申込みやアンケートの回答について、一部結果を記載する。

(2) 事業概要

《防災カタログギフト》

①対象者

令和6年5月1日時点で世田谷区内に住民登録をしている区民（501,780世帯）

②付与額

世帯主に対し、世帯人数×3,000ポイント（3,000円相当）を付与

③対象商品

在宅避難や出火防止、初期消火対策に資するもの

《アンケート》

①対象者

防災カタログギフト申込者のうち、WEBサイトでの申込みを選択した者（任意）

②内容

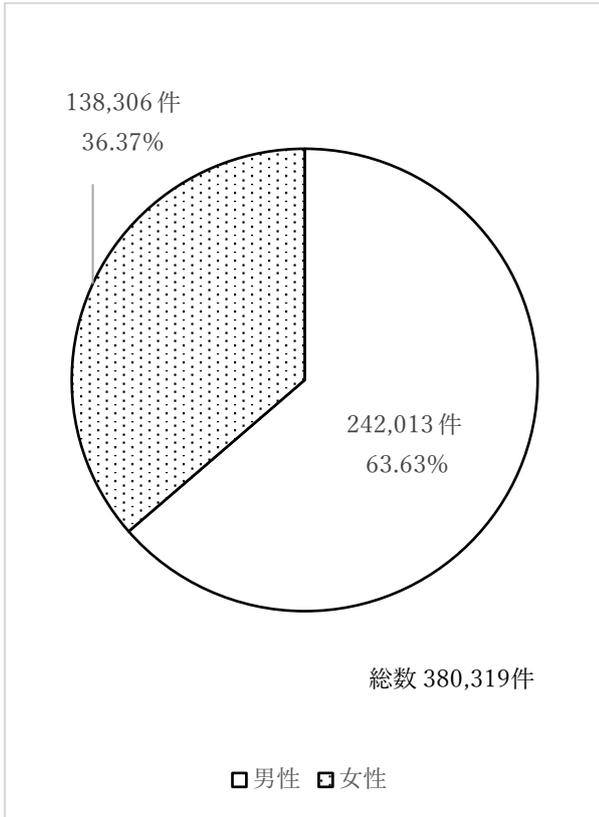
- ・家庭内備蓄の有無
- ・防災意識の変化
- ・防災カタログギフトで足りないものの購入意識
- ・居住形態
- ・想定している避難行動
- ・災害発生時の心配ごと
- ・在宅避難に必要なこと
- ・災害時の支援
- ・防災訓練や防災教室への参加

2. 商品申込実績及びアンケート回答結果

発送 件数	返戻 件数	WEB申込み 件数	全交換 件数	申込率 (WEB)	申込率 (全体)	アンケート 回答者数	アンケート 回答率
501,780	3,630	219,689	380,319	57.76%	76.35%	210,759	95.94%

3. 標本構成

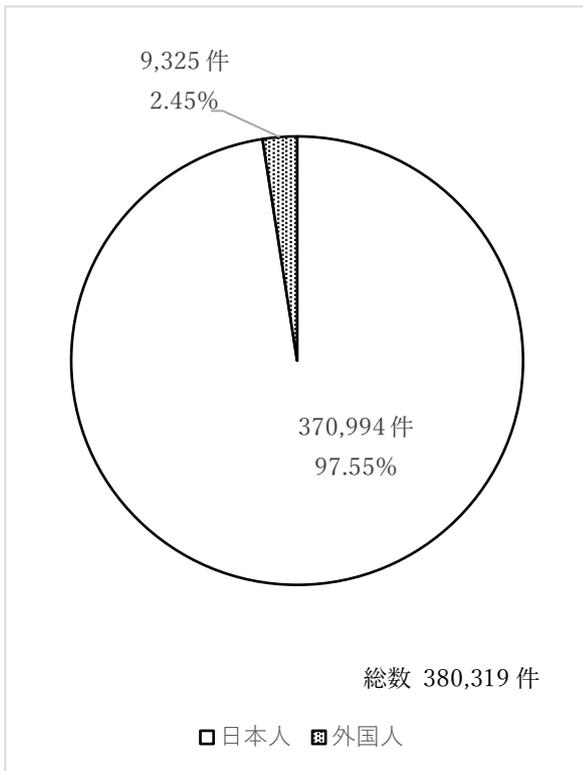
(1) 性別



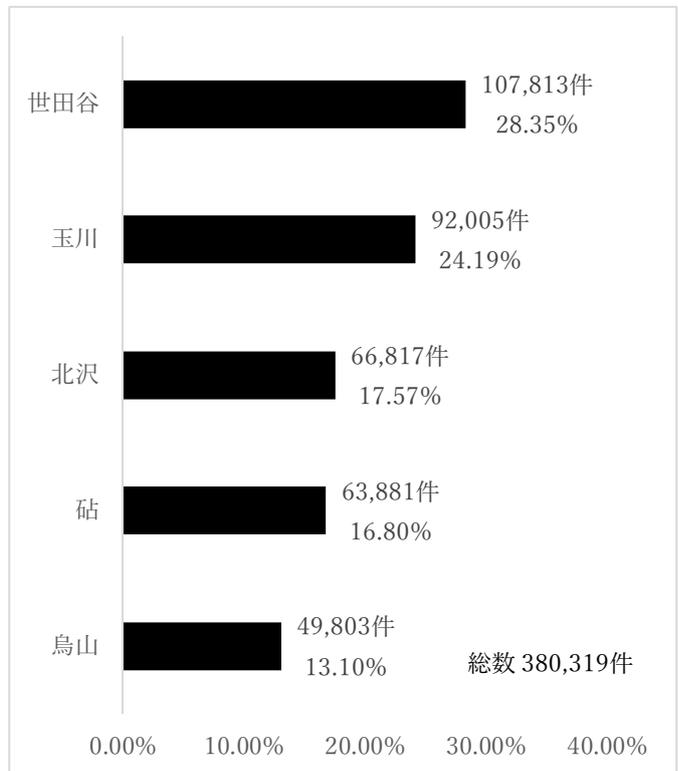
(2) 年齢



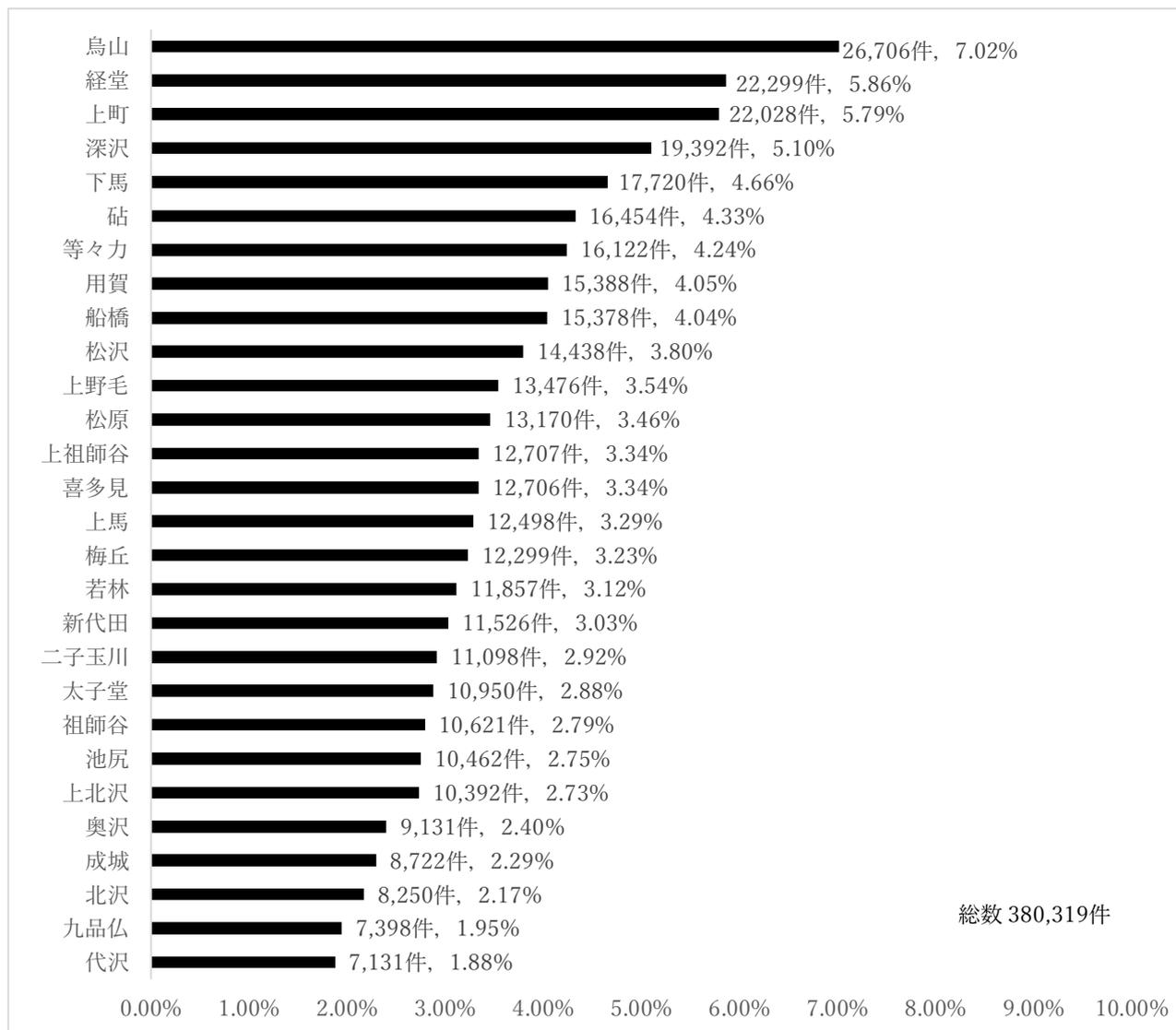
(3) 国籍



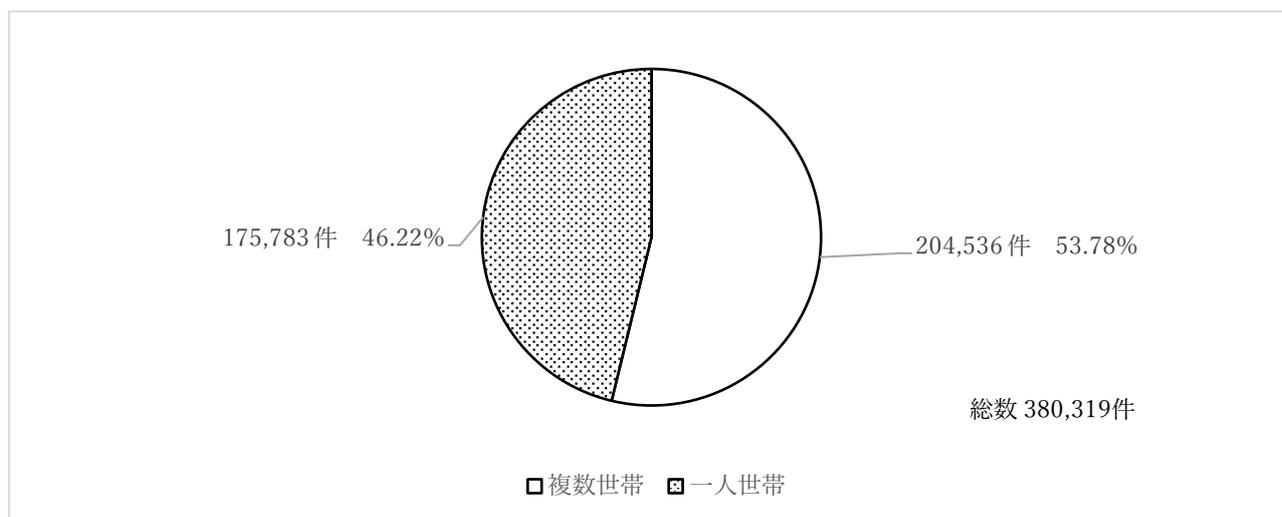
(4) 居住地域



(5) 居住地区



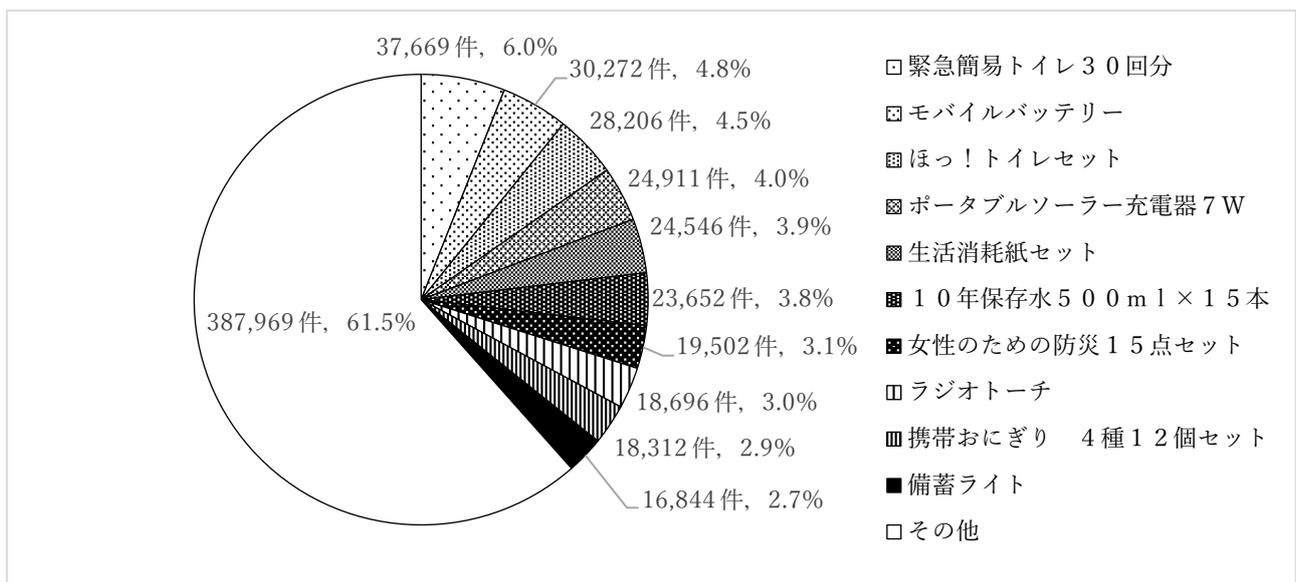
(6) 家族構成



4. 申込商品の集計結果

商品申込数が多かった20品目は以下のとおり。

順位	商品コード	商品名	申込数	割合
1	ST24-087	緊急簡易トイレ30回分	37,669	5.97%
2	ST24-006	モバイルバッテリー	30,272	4.80%
3	ST24-086	ほっ！トイレセット	28,206	4.47%
4	ST24-007	ポータブルソーラー充電器7W	24,911	3.95%
5	ST24-082	生活消耗紙セット	24,546	3.89%
6	ST24-045	10年保存水500ml×15本	23,652	3.75%
7	ST24-099	女性のための防災15点セット	19,502	3.09%
8	ST24-003	ラジオトーチ	18,696	2.96%
9	ST24-050	携帯おにぎり 4種12個セット	18,312	2.90%
10	ST24-004	備蓄ライト	16,844	2.67%
11	ST24-047	マジックライス9食セット	15,767	2.50%
12	ST24-008	Sパネル付きモバイルバッテリー	13,817	2.19%
13	ST24-005	LEDランタン (球ランタン)	13,565	2.15%
14	ST24-025	ウォーターバッグ5個セット	13,473	2.14%
15	ST24-001	ミニラジオライト	12,969	2.06%
16	ST24-046	10年保存水 2L×15本	12,807	2.03%
17	ST24-040	簡易消火具 消す兵衛neo	12,780	2.03%
18	ST24-066	野菜一日これ一本長期保存18本	11,590	1.84%
19	ST24-062	野菜たっぷりスープS10個入	11,382	1.81%
20	ST24-002	ポータブルラジオライト	11,017	1.75%



「緊急簡易トイレ30回分」(5.97%)と「ほっ！トイレセット」(4.47%)が合わせて1割を超えている。「モバイルバッテリー」(4.80%)や「ポータブルソーラー充電器7w」(3.95%)の電源を確保できる商品も上位に入っている。

5. アンケート回答結果

(1) 設問1「あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。
(あてはまるものをひとつ選択)」の集計結果

順位	内容	回答数	割合
1	3日分	62,721	29.84%
2	1～2日分	61,054	29.04%
3	水や食料の備蓄はしていない	36,934	17.57%
4	4～6日分	30,641	14.58%
5	1週間分以上	18,875	8.98%

「水や食料の備蓄はしていない」(17.57%)が約2割、「3日分」(29.84%)と「1～2日分」(29.04%)を合わせた《3日分以内》が約6割、「4～6日分」(14.58%)と「1週間分以上」(8.98%)を合わせた《4日分以上》が約2割となっている。

(2) 設問2「今回の事業は、家庭での防災意識を高めたり、備蓄を促すのに有効だと思いますか。(あてはまるものをひとつ選択)」の集計結果

順位	内容	回答数	割合
1	はい	176,883	84.38%
2	いいえ (ポイント付与数が少ない)	24,954	11.90%
3	いいえ (希望の商品がない)	4,651	2.22%
4	いいえ (上記にあてはまらない理由である)	3,140	1.50%

「はい」(84.38%)が8割半ばとなっている。「いいえ (ポイント付与数が少ない)」(11.90%)、「いいえ (希望の商品がない)」(2.22%)、「いいえ (上記にあてはまらない理由である)」(1.50%)を合わせた《いいえ》は1割半ばとなっている。

(3) 設問3「カタログだけでは足りないものを、自分で購入しようと思いますか。(どちらかを選択)」の集計結果

順位	内容	回答数	割合
1	はい	178,485	85.45%
2	いいえ	30,398	14.55%

「はい」(85.45%)が8割半ばとなっている。

(4) 設問4「あなたはマンションなどの集合住宅にお住まいですか。(どちらかを選択)」の集計結果

順位	内容	回答数	割合
1	集合住宅	144,066	68.91%
2	集合住宅以外	64,991	31.09%

「集合住宅」(68.91%)が約7割となっている。

(5) 設問5「震度6強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとりますか。(あてはまるものをひとつ選択)」の集計結果

順位	設問回答文言	回答数	回答割合
1	自宅が無事で危険がなければ自宅に留まる(在宅避難)	148,887	71.09%
2	小中学校など地域の避難所に行く	48,194	23.01%
3	危険がない家族や親戚・友人の家に避難する(縁故避難)	6,815	3.25%
4	その他(考えていないなど)	4,128	1.97%
5	自身で宿泊施設等を確保して避難する(自主避難)	1,402	0.67%

「自宅が無事で危険がなければ自宅に留まる(在宅避難)」(71.09%)が約7割と最も高く、「小中学校など地域の避難所に行く」(23.01%)が約2割となっている。

(6) 設問6「災害が起こった場合、どのようなことが心配ですか(当てはまるものをすべて選択)」の集計結果

順位	内容	回答数	割合
1	家族の安否	175,886	10.28%
2	食料、飲料水、生活必需品の不足	143,275	8.37%
3	トイレなどの衛生環境	140,237	8.19%
4	電気、水道、ガスなどのライフラインの停止	131,289	7.67%
5	生活用水の不足	129,117	7.54%
6	自宅や避難所での被災生活	122,165	7.14%
7	携帯電話を含む通信の不通	102,861	6.01%
8	電力不足	96,548	5.64%
9	外出先からの帰宅困難	95,281	5.57%
10	地震による火災	91,680	5.36%
11	健康管理	81,542	4.76%
12	建物被害	80,417	4.70%
13	道路や交通機関の被害や混乱	57,865	3.38%
14	災害状況などの情報入手の困難	56,505	3.30%
15	行政や国の支援体制	54,718	3.20%
16	タンス、冷蔵庫など家具類の転倒	47,836	2.79%
17	SNS等によるデマ情報の拡散	41,426	2.42%
18	ペットに関すること	32,528	1.90%
19	地域の方との助け合い不足	29,764	1.74%
20	あてはまるものはない	830	0.05%

「家族の安否」(10.28%)が最も高く、以下、「食料、飲料水、生活必需品の不足」(8.37%)、「トイレなどの衛生環境」(8.19%)などと続く。

(7) 設問7「在宅避難をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものをすべて選択)」の集計結果

順位	内容	回答数	割合
1	食料、飲料水、生活必需品の確保	193,938	13.39%
2	生活用水の確保	165,173	11.40%
3	トイレなどの衛生環境対策	145,911	10.07%
4	電気、水道、ガスなどのライフライン供給	139,368	9.62%
5	電力確保(可搬型バッテリーなど)	119,164	8.23%
6	携帯電話を含む通信環境の確保	116,971	8.07%
7	耐震性の高い住宅	99,357	6.86%
8	健康管理(常備薬の確保など)	89,664	6.19%
9	災害状況などの情報入手	79,924	5.52%
10	行政や国の支援体制	70,789	4.89%
11	感震ブレーカー設置などの火災発生防止対策	70,523	4.87%
12	タンス、冷蔵庫など家具類の転倒防止対策	68,927	4.76%
13	地域の方との助け合い	56,476	3.90%
14	ペット用品の確保	31,416	2.17%
15	あてはまるものはない	1,046	0.07%

「食料、飲料水、生活必需品の確保」(13.39%)が最も高く、以下、「生活用水の確保」(11.40%)、「トイレなどの衛生環境対策」(10.07%)、「電気、水道、ガスなどのライフライン供給」(9.62%)などと続く。

(8) 設問8「災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援(手助け)ができますか。(あてはまるものをすべて選択)」の集計結果

順位	内容	回答数	割合
1	安否確認(「大丈夫ですか」などの声かけ)	151,856	18.51%
2	物資を運ぶ手助け	121,862	14.86%
3	プライバシーを守りつつ情報の共有(災害状況や避難情報など)	117,945	14.38%
4	避難の手助け	108,517	13.23%
5	高齢者や身体の不自由な方などの支援を必要とする人の手助け	98,225	11.97%
6	消火活動の手助け	95,871	11.69%
7	介助や応急手当	54,468	6.64%
8	一時的な保護・預かり	43,231	5.27%
9	地域や近所と協力し合う関係性ではない	24,761	3.02%
10	あてはまるものはない	3,592	0.44%

「安否確認（「大丈夫ですか」などの声かけ）」（18.51%）が最も高く、以下、「物資を運ぶ手助け」（14.86%）、「プライバシーを守りつつ情報の共有（災害状況や避難情報など）」（14.38%）、「避難の手助け」（13.23%）などと続く。

（9）設問9「どのようなことがあれば、世田谷区が実施している防災訓練や防災教室に参加しようと思いますか。（あてはまるものをすべて選択）」の集計結果

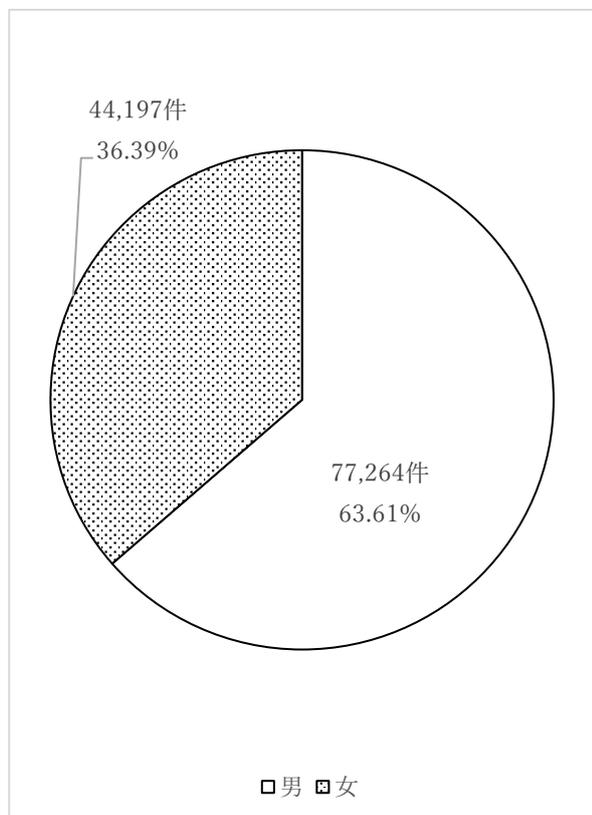
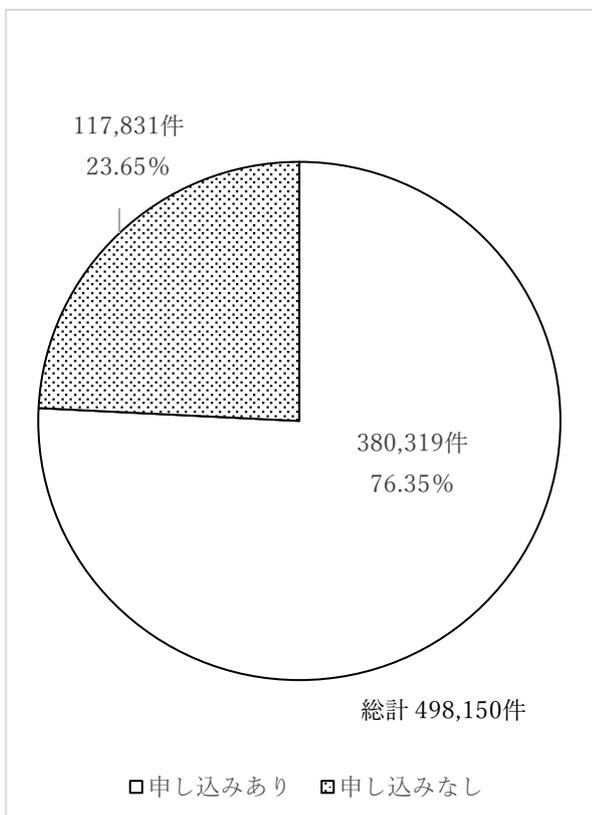
順位	設問回答文言	回答数	回答割合
1	実施日や内容の周知・啓発	100,183	19.40%
2	参加しやすい時間	98,869	19.15%
3	アクセスしやすい場所	95,599	18.52%
4	個人でも参加しやすい	66,742	12.93%
5	オンラインでの参加が可能	56,682	10.98%
6	親子や子どもが参加しやすい内容	37,091	7.18%
7	記念品（ノベルティグッズ）がもらえる	30,947	5.99%
8	あてはまるものはない	20,184	3.91%
9	子どもを預かるサービスがある	10,017	1.94%

「実施日や内容の周知・啓発」（19.40%）が最も高く、以下、「参加しやすい時間」（19.15%）、「アクセスしやすい場所」（18.52%）などと続く。

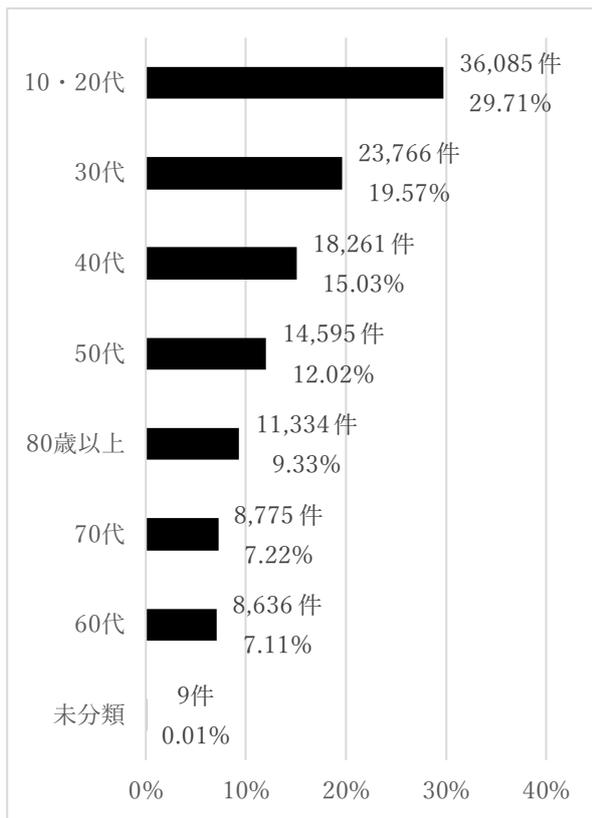
6. せたがや防災ギフトを申し込まなかった世帯について

（1）全体の傾向

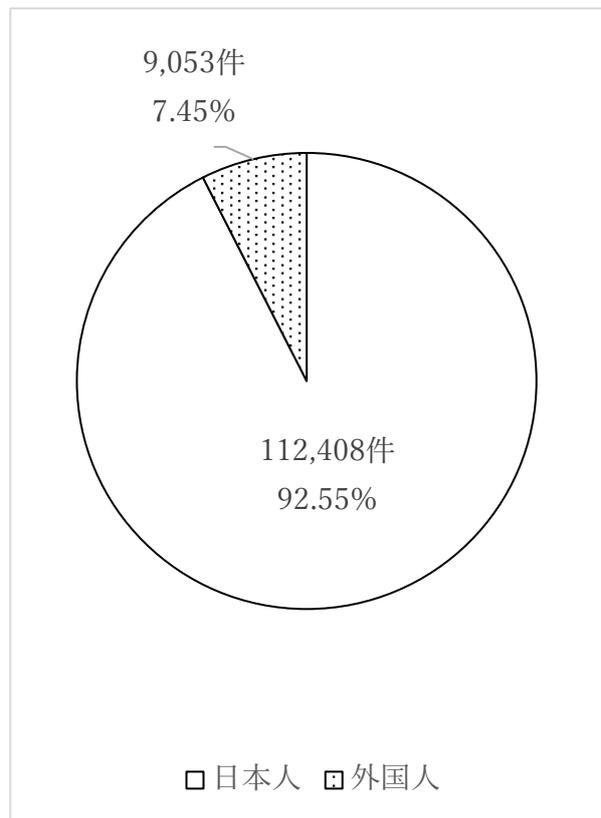
（2）世帯主の性別



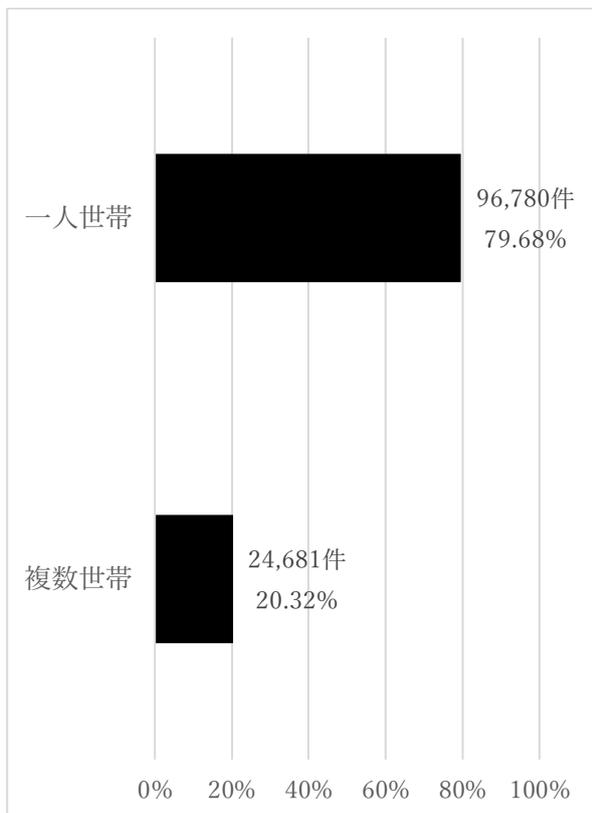
(3) 世帯主の年齢



(4) 世帯主の国籍



(5) 家族構成



(6) 居住地域



(7) 居住地区

